

平成14年度実施事業 詳細評価シート

担当部課	生活環境部みどりの課	直通電話	72-6122	事業コード	501020103	課内	7	作成日	平成15年9月1日
		担当者	池田 祐二	担当課長	松本 博	担当部長	吉田 保雄		

1 事業のアウトライン

1) 事業名	北の森づくり緊急対策事業補助金	開始年度	H14	終了年度	H16								
		最近の事業内容見直し年度											
2) 総合開発計画での事業体系	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 15%;">施策コード</th> <th style="width: 85%;">大項目 / 小項目 / 細項目</th> </tr> <tr> <td>5010201</td> <td>農業、水産業の振興 / 林業の振興</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>					施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目	5010201	農業、水産業の振興 / 林業の振興				
施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目												
5010201	農業、水産業の振興 / 林業の振興												
3) 個別計画での位置付け	石狩市水とみどりの基本計画（防風林等を軸とした石狩らしい景観を守る）												

2 事業の内容

1) 事業の目的 何のために	市町村が、間伐されていない森林整備に対し、間伐を推進するための支援を行ない公益的機能の発揮のきっかけをつくる。
2) 目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	間伐を推進するための支援を行うことによって、森林が活性化し、空気の浄化や騒音の緩和に役立つ森林整備ができる。
3) 事業の方法 どんな手段を講じるのか	森林環境保全整備事業実施要領に基づき、森林所有者に北の森緊急対策補助金として助成した。 平成14年度は石狩市内で1森林所有者の申請があった。 森林所有者は森林組合に交付申請手続及び受領等を委任しているため、事務手続は、森林組合が行なっている。
4) 14年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	特になし
5) 事業の背景・社会状況・他の類似事業など	北海道が補助している森林環境保全整備事業(育成単層林整備 除間伐)で助成した同じ場所を、北の森づくり緊急対策事業で助成した。
6) 事業の立案や実施などへの市民参加	特になし
7) 評価中間公表への市民意見	なし

3 事業に投入した行政資源

項目	H12	H13	H14	H15 予算	H14事業費の主な内訳	金額(千円)
1) 直接事業費(千円)	0	0	148	168	北の森づくり緊急対策事業補助金	148
2) その他の間接経費(千円)						
3) 従事正職員の人件費(千円)			906			
総事業費(1~3の合計;千円)			1,054			
総事業費中の一般財源(千円)			980			
					H14主な特定財源の内訳	金額(千円)
市民一人当たり一般財源使用額(円)			18		北の森づくり緊急対策事業(秋期分)の補助金(北海道)	74
事務に従事した正職員のべ人数			0.11人			

4 事業活動の結果

事業活動の結果を示す指標	H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法
間伐面積(ha)	目標値		13	11	森林所有者が森林全体を林業施策計画に基づいて行う事業である。
	実績値		11		
	達成率		81.5%		
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

5 事業の成果

事業名：北の森づくり緊急対策事業補助金

事業の成果を示す指標		H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	確認方法
所有地の推定蓄積量 (立方メートル)	目標値	未設定	7,070	7,353	7,801	間伐した樹木で減った分と残った樹木が成長して増加した分との差が、前年より推定蓄積量が増加することで、この事業の効果が、裏づけられる。	森林調査簿のデータにより確認した。
	実績値	7,070	7,353	7,801	目標レベル		
	達成率		104.0%	106.1%			
	最終目標	年度に					
	目標値						
	実績値				目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					
	目標値						
	実績値				目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					

6 事業の観点別評価

1) 事業活動の状況	[課長評価]	極めて良好	概ね良好	一部問題あり	大きな問題あり
[評価ポイント] 活動結果や活動効率、事業改善等の効果はどうだったか	森林事業活性化のために、森林所有者から事務委託を受け、森林を間伐した森林組合に助成した。林業施策計画に基づいて実施されている。				
2) 有効性・必要性	[課長評価]	有効かつ必要	有効性に疑問あり	必要性に疑問あり	ともに疑問あり
[評価ポイント] その事業は事業目的の達成に効果があるか、また、市民(対象者)に必要とされているか	石狩湾新港地域の工業団地から住宅地の環境を保全するため、遮断緑地を良好な状態に維持管理することは、空気の浄化や騒音の緩和につながり、市民生活を営む上で必要なことである。				
3) 市関与の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] その事業に市が関与する必要があるか、市がどこまで関与するのが適当か	森林所有者の森林を森林所有者自らが維持管理すべきであるが、市民生活の環境面で公益性があるため、助成する一定の妥当性があると思う。				
4) 事業内容の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] 目指す成果を挙げるためには今の事業内容が適当か、受益と負担の関係に不公平はないか	自然林のままにしておく、木の生育上好ましくありません。民有林ですので、森林所有者が維持管理すべきであるが、森林が持つ公益性のため、この助成方法がよいと思う。				

7 平成14年度事業の総合評価

[評点の意味] A: 極めて良好 B: 良好 C: 可も不可もない D: 問題がある E: 大きな問題がある	[課長評価]	B	[最終評価]	B (前年度)
	空気の浄化や騒音の緩和に役立ち、市民生活の環境面で貢献している保健保安林としての機能を評価する必要がある。		[部長評価] 森林が持つ公益機能を重視して、取り進めることが必要である。 [市長評価] 部長評価を了承する。	

8 今後の方向性・課題

担当課長評価	平成16年で、この事業の内北海道からの1ha当たり7,000円の助成が無くなる。市としてその後、市単独で存続するかどうか検討する必要がある。
最終評価	[担当部長] 北の森づくり緊急対策事業補助金は、平成16年に終了するが、これに変わる事業補助金の制度ができるのか状況を把握する必要があるが、事業的には目的が達成しているため、存続しない方向で検討する。 [市長評価] 部長評価を了承する。

9 平成16年度の方向性

* ; 担当課長 ; 最終評価	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合 休・廃止		
上についての説明	[市長評価] 部長評価を了承する。		

(付表)
補助・負担金等事業内容整理表

担当部課： 生活環境部みどりの課
事業名： 北の森づくり緊急対策事業補助金

1 補助・負担相手方の概況

補助・負担金名称	北の森づくり緊急対策事業補助金
支出相手方(名称、代表者、構成員)	石狩北部森林組合 代表理事組合長 前澤 昭治
活動(事業)目的	石狩市内に所在している人工林の間伐を行うことで、森林の公益機能性が高く維持され、健康なまちづくりに貢献する。

2 補助・負担相手方の財政状況等

(単位:千円)

		H12決算		H13決算		H14決算		H15予算	
		全体	補助対象	全体	補助対象	全体	補助対象	全体	補助対象
歳出決算 (予算)状況	除間伐標準経費					1,489	695	1,532	
	歳出合計					1,489	695	1,532	
歳入決算 (予算)状況	北の森づくり緊急対策事業補助金					148	9.9%	141	9.2%
	森林環境保全整備事業(北海道)補助金		市の補助負担金への依存度		市の補助負担金への依存度	794	市の補助負担金への依存度	758	市の補助負担金への依存度
	個人負担					547		633	
	歳入合計					1,489		1,532	
補助・負担対象経費の内容	除間伐の標準経費から公共補助金を差し引いた分。								
補助・負担金額の算定方法	北の森づくり緊急対策事業の間伐に対して、1ha当たり市が14,000円を森林環境保全整備事業実施要領に基づき補助対象となった間伐事業の対象者に補助する。 市が1ha当たり14,000円以上を森林環境保全整備事業実施要領に基づき補助対象となった間伐事業の対象者に補助することにより、北海道が、1ha当たり7000円を市に助成する。								

3 補助・負担相手方の活動状況

活動結果を示す指標名	H12実績	H13実績	H14実績	H15目標
間伐した面積(ha)			10.6	10.12
平成14年度活動(事業)実績	石狩開発(株)所有の石狩湾新港地域にある遮断緑地(保健保安林)に所在している森林の間伐することにより、公益性のある森林を間接的に保全した。			

4 特記事項

<p>北の森づくり緊急対策で取り組んでいる地域は、石狩湾新港地域の遮断緑地で、港湾の中央水路掘り込みのため伐採された海岸防風保安林の代替地で、既成市街地の環境保全を図るための緩衝林として、昭和49年から5か年間で26万本を植林したもので、その大部分は良好な環境を保持するため、間伐等で維持管理されており、公衆の保健休養の役割を果たしている。 この貴重な遮断緑地は、身近な自然として、また工業団地の騒音や振動や臭いから住宅地の住環境を守るための機能を果たしている。 今後も、この保健保安林を住宅地の環境保全のため、森林所有者と市が守り育てていく必要がある。</p>
